

調布市制施行 **70** 周年記念
東京2025
デフリンピック応援チャリティ
第九スペシャルコンサート

主催 デフリンピック応援チャリティーコンサート実行委員会
共催 調布市
国立大学法人東京大学 作曲 = 指揮研究所

11/21 金

17:30

開場

指揮者コーナー選考会

18:30

開演

入場料

(聴覚) 障害者の方には無料
招待枠、介助者には特別料金
1,000円有り

プレミアムシート 4,500円

一般席 3,500円

学生 3,000円

介助者・高校生 1,000円

小・中学生 500円

出演

デフリンピックスペシャル合唱団

調布市立第六中学校 + 神代中学校合唱団

高見秀太朗 (ピアノ)

新藤昌子 (ソプラノ) 北澤幸 (アルト)

山崎敏弥 (テノール) 清水一成 (バリトン)

STREAMM 東京

伊東 乾 (指揮とお話し、
東京大学作曲 = 指揮研究室教授)

会場

調布市グリーンホール
大ホール

選考会参加者は正面受付に集合
詳細はお問い合わせください

君も「第九」を
指揮してみないか?
子どものための
1分間指揮者
コーナーに
チャレンジを!



題名のない音楽祭

ベートーヴェンと
感じ考える障害と生涯

●聴覚障害者のための
ヒアリンググループ・
手話通訳・要約筆記付き

コンサート収益金は聴覚障害者支援事業に寄付されます。
お申込み、お問合せ、1分間指揮者のご応募は、右記の二次元コードから。

<https://chofuconcert.net>



調布市制施行 **70** 周年記念
東京2025
デフリンピック応援チャリティ
第九スペシャルコンサート

題名のない音楽祭

ベートーヴェンと 感じ考える障害と生涯



音楽家でありながら聴覚を失い、でもその運命を受け入れピアニストの夢を諦め、作曲と教育に生涯を捧げ幾多の名曲と無数の生徒を育てた「一障害者」ベートーヴェン。高齢化が進む現代、元「題名のない音楽会」監督の伊東教授と感じ考える「共生の第九」小中学生が参加できる1分間指揮者コーナーなど企画満載の音楽祭。障害者招待席もあります。



新藤 昌子 (ソプラノ)



現在世界200カ国の国歌のレパートリーを持つうたう研究家。東京 2020五輪では、NHK WORLD JAPANより「Olympic Anthem Queen」特集番組が放映され、2025大阪・関西万博ではナショナルデイホールにて国歌を独唱。共著2冊、日本コロムビアより「聴いて読んでわかる世界の国旗・国歌」CD発売中。内閣官房ホストタウン事業、国際交流プログラム国歌アドバイザー。



伊東 乾 (指揮)《特別出演》



作曲を松村禎三、高橋悠治、指揮をL.バーンスタイン、P.ブーレーズ他の諸氏に師事。J.ケージ遺作「OCEAN」世界初演、R.ヴァーグナー「楽劇トリスタンとイゾルデ」ノーカット日本初演など重要な演奏を指揮・芸術監督。99年東京大学作曲指揮研究室を主宰、同教授としてSTREAMM東京を率いベートーヴェン交響曲全集録音等を進める。師ブーレーズとの「スペクトラル・コンダクティング」指揮技法でも知られる。



高見 秀太朗 (ピアノ)



大阪府出身、調布市在住。桐朋女子高校音楽科(共学)、桐朋学園大学音楽学部を経て、宮城教育大学教職大学院修了。「音楽で心をつなぐ」をテーマに、あらゆる人々に音楽を届ける活動を展開。第19回日本クラシック音楽コンクール最高位、世界クラシック第2位。MECP代表、100万人のクラシックライブ運営メンバー。

その他の出演者についてはイベントホームページ(チラシ表面に二次元コードあり)をご覧ください。